

7.2 悪臭

7.2.1 予測した事項

(1) 調査事項

- 1) 受け入れピットから漏洩する悪臭
- 2) 屋外廃棄物処理施設等から発生する悪臭

(2) 調査地域

調査地域は、計画地内とした。

(3) 調査手法

1) 調査時点

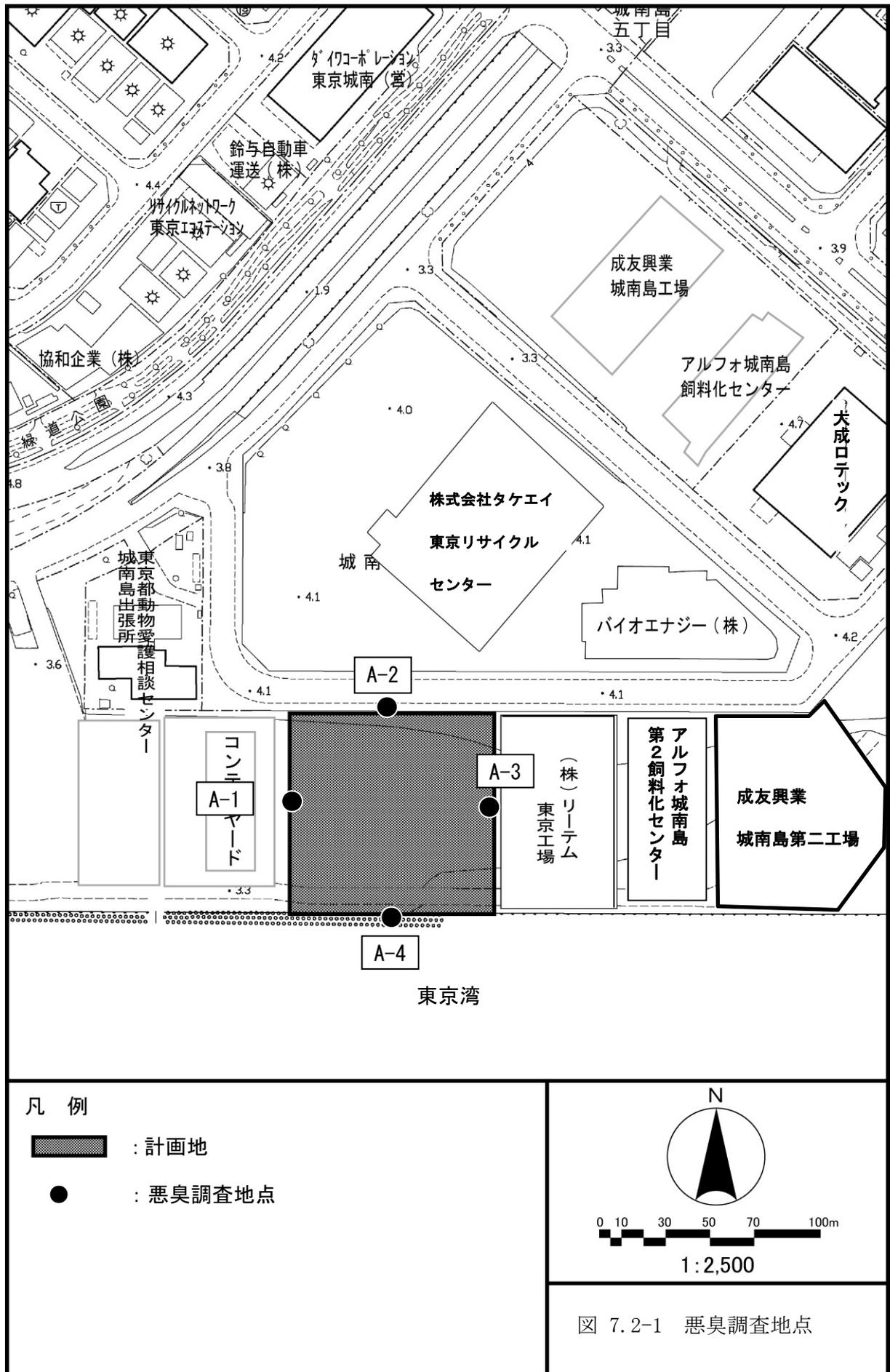
- a. 受け入れピットから漏洩する悪臭
- b. 屋外廃棄物処理施設等から発生する悪臭
施設の稼働が通常の状態に達した時点とした。

2) 調査期間

- a. 受け入れピットから漏洩する悪臭
- b. 屋外廃棄物処理施設等から発生する悪臭
調査期間は、平成 30 年 8 月 1 日とした。

3) 調査地点

- a. 受け入れピットから漏洩する悪臭
- b. 屋外廃棄物処理施設等から発生する悪臭
悪臭の調査地点は図 7.2-1 に示す敷地境界 4 地点とした。



注:この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺 2,500 分の 1 の地形図を利用して作成したものである。
(承認番号)31 都市基交著第 98 号

4) 調査方法

- a. 受け入れピットから漏洩する悪臭
- b. 屋外廃棄物処理施設等から発生する悪臭

調査方法を表 7.2-1 に示す。

表 7.2-1 調査方法

調査項目	調査方法
臭気指数	H7環告 第63号

(4) 事後調査結果の内容

- 1) 受け入れピットから漏洩する悪臭
- 2) 屋外廃棄物処理施設等から発生する悪臭

悪臭の調査結果を、表 7.2-2 に示す。

臭気指数は 10 未満～15 の範囲であり、A-2 及び A-4 で規制基準を上回った。

上回った理由として、周辺の潮風のにおいの影響が考えられる。

表 7.2-2 悪臭調査結果

調査地点	臭気指数	規制値※
A-1	13	13
A-2	15	
A-3	10 未満	
A-4	15	

※「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例
(平成 12 年 12 月 東京都条例第 215 号)」

7.2.2 予測条件の状況

(1) 調査事項

- 1) 気象の状況
- 2) 施設の稼働状況

(2) 調査地域

調査地域は、計画地内とした。

(3) 調査手法

1) 調査時点

- a. 気象の状況
- b. 施設の稼働状況

「予測した事項」と同時期とした。

2) 調査期間

- a. 気象の状況
- b. 施設の稼働状況

「予測した事項」と同時期とした。

3) 調査地点

a. 気象の状況

気象の調査地点は図 7.2-1 に示した敷地境界4地点とした。

b. 施設の稼働状況

計画地内とした。

4) 調査方法

a. 気象の状況

簡易風向風速計及び温湿度計を用いて観測した。

b. 施設の稼働状況

施設の稼働状況（局排装置及び活性炭吸着塔の運転状況等）を整理した。

(4) 事後調査結果の内容

1) 気象の状況

悪臭調査時の気象の状況を表 7.2-3 に示す。

表 7.2-3 気象の状況

調査地点	風向	風速(m/s)	気温(°C)	湿度(%)
A-1	—	静穏	36.5	55
A-2	—	静穏	36.5	52
A-3	西	1.2	34.5	57
A-4	南東	1.5	36.2	55

2) 施設の稼働状況

施設の稼働状況を表 7.2-4 に示す。稼働時間、処理量ともに予測条件を下回っている。

表 7.2-4 稼働状況

項目	予測条件	平成 30 年 8 月 1 日	
		施設	局排
稼働時間	24 時間	14 時間	7 時間
処理量 (t)	4,080	1397.2	—

7.2.3 予測結果と事後調査結果との比較検討

1) 受け入れピットから漏洩する悪臭

2) 屋外廃棄物処理施設等から発生する悪臭

環境保全措置のための措置の実施状況より悪臭の環境保全対策が適切に行われていることを確認した。

また、事後調査結果と現況調査結果の比較を表 7.2-5 に示す。

敷地境界で実施した悪臭の調査結果は平成 21 年に行った現況調査と同等またはそれ以下であり、現況調査時と同様に周辺の潮風のおおいの影響が考えられる。

以上のことから「本施設からの臭気の漏洩の影響は最小限となり施設から漏洩する臭気の影響は小さい」という予測結果を満足していると考えられる。

表 7.2-5 施設の稼働に伴う悪臭の予測結果と調査結果の比較

調査地点	臭気指数	
	事後調査 (平成 30 年)	現況調査 (平成 21 年)
A-1	13	15
A-2	15	
A-3	10 未満	
A-4	15	